

## 複合サイクル腐食試験機

【キーワード】 複合サイクル試験、耐食性、塩水噴霧

【はじめに】

自動車、機械器具・部品、日用品、医療品、建材などのあらゆる製品・材料は、さまざまな自然環境のもとで腐食等により劣化し、寿命を迎える運命にあります。県内には、自動車関連産業をはじめとした多種多様な企業が立地しており、当研究所には、「製品・材料の寿命を評価・予測したい」「より耐久性がある部材や表面処理品を開発したい」などの相談が日々寄せられています。そのため、令和4年度のJKA補助事業の一環として、複合サイクル腐食試験機（写真1、2）を導入しました。

【複合サイクル腐食試験機について】

複合サイクル腐食試験機は、製品、材料がさらされる自然環境を再現することで、長時間屋外暴露試験や実環境で利用した場合の腐食状況を、より短時間の試験で推測することが可能な装置です。

今回導入した装置は、最も一般的な複合サイクル腐食試験であるJASO（日本自動車技術会規格）における試験サイクルに加えて、塩水浸漬、低温条件、外気導入等を実施可能であり、自動車メーカー指定の独自規格にも対応した試験が実施可能です。100kgfの耐荷重があることから、自動車部品をはじめとした大型で重量のある金属部品や製品をそのまま試験できます。また、温湿度記録をデジタル出力可能であるため、試験経過の確認を容易に行えます。

是非、製品や部品の開発に御活用ください。

＜仕様＞	
試験サイクル：塩水噴霧・乾燥・湿潤・ （種類） 浸漬・低温・外気導入	
寸法	：850W×800D×1030H mm
耐荷重	：100kgf
塩水噴霧	：中性5%塩水 35℃/50℃
乾燥	：20～70℃
湿潤	：50～70℃、 湿度60～95%rh
浸漬	：(室温+10)～60℃
浸漬水位	：約180mm、5%塩水
低温	：-20～20℃



写真1 複合サイクル腐食試験機

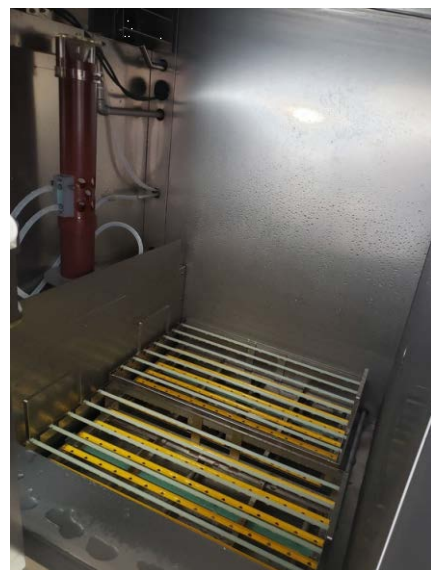


写真2 試験槽